

human

No244

2012/8

医療を通じて人と人とのふれあいを広めるために
ヒューマン(人)と名付けました。



「七夕祭り『来て見ん祭』 太郎と花子にて」

救急指定・労災指定病院	さくら総合病院	愛知県丹羽郡大口町新宮1-129 (0587)95-6711(代)
老人保健施設	さくら荘	愛知県丹羽郡大口町新宮1-96 (0587)95-6722
訪問看護ステーション	あすかビレッジ	愛知県丹羽郡大口町新宮1-10(太郎と花子内) (0587)95-8623
ヘルパーステーション	あすかビレッジ	愛知県丹羽郡大口町新宮1-10(太郎と花子内) (0587)95-8026
居宅介護支援事業所	あすかビレッジ	愛知県丹羽郡大口町新宮1-10(太郎と花子内) (0587)95-8027
デイケアセンター	御 嶽	愛知県丹羽郡大口町新宮1-129(さくら総合病院2F) (080)5294-5728
有料老人ホーム	太郎と花子	愛知県丹羽郡大口町新宮1-10 (0587)95-0111



<http://www.ijinkai.or.jp>

E-mail: info@ijinkai.or.jp

人は過ちを犯すもの

院長 小林 勝正

人類が地球上に生を得たのは神話の世界である。その頃の人類は地球上の幾多の獣と同じように、日が昇ると起き、日が沈むと寝た。神々の規則に反して人類へ火を与えたのはプロメテウスだと神は言う。このギリシャ神話上の人物。プロメテウスは人に火を与えたことにより自らが罰せられ、不死身の神でありながら腹を引き裂かれ、鷲に肝臓をついばまれるという苦行を与えられた。生来、不死身であるために、この苦しい罪から逃れるための死は与えられなかった。

この神話の時代から人の肝臓が一晚のうちに再生するという真実が判つたことは驚きである。この医学上の事実は別として、人は与えられた火により地球上の生物を支配し、自らも自然に頼る農耕民族から狩猟民族へと変遷していった。石器を頼りにする生活から、火を使用することにより鉄器をつくり、生活の利便性だけではなく獲物を取る手段、他民族を征服する手段として発達していった。他民族を征服し、同種民族が繁栄することを願う本質的な気持ちは、現代社会においても全く変わっていない。こうした目的のために戦場に戦車が現れ、車輪ではなくキャタピラーによ

る移動を可能にした。輸血をすることにより人命を救うという手段も戦場から得た知恵である。朝鮮動乱という比較的耳慣れた最近の戦争に於いて、血漿の輸液が開発されたのも有名である。それほどまでに医学の歴史も浅い。金さん銀さんに始まった長寿社会も今や80歳・90歳は当たり前、100歳以上でも稀ではなくなった。この100歳以上の人達がこの世に生を受けて「オギャー」と生まれた時は人間の血液型は判っていなかった。プロメテウスの与えた火は、未だ以て人類がコントロール出来ているわけではない。事実、昨年の震災に於いても、気仙沼の火事の鎮火は人によるものではなかった。燃えた重油がこ

と切れたからである。オーストラリア・ビクトリア州で起こった山火事でも250名の人々が亡くなったが、これとても人類が火を完全にコントロールしているわけではないという証である。レントゲンが電極管の研究をしていた。今でいうならLEDライトの開発のよなものである。1895年に電極管から発する赤外線とも紫外線とも違う不明な電子線を発見した。これを不明な線として「X線」と命名した。この線は人体を透過し、色々な物体を透過するが鉛は透過しないということを発見し、1901年ノーベル賞を受賞した。これが今誰でも知っているレントゲン線である。当然、太陽エネルギーの中に含まれるものでもある可視光線、赤外線、紫外線等とともに、人類が

やつと分類してきた波長の異なる電子線である。つい最近ヒッグス粒子が発見された等、まだ未知な分野があまりにも多く残っている。こうした浅い歴史の中で人類は今、太陽エネルギーを我が手に収めようと模索している。これも第二次世界大戦の時に、各国がこぞって戦略的意味に於いて原子爆弾の開発を競ったことより、学問での裏付けが飛躍的に進歩した。この太陽エネルギーを急激に反応させれば、原子爆弾が水素爆弾になり、その核融合を非常にゆっくりにさせながら平和利用しようとしたのが原子力発電であることは誰しもが分かっている。こうした核融合を、ゆっくりにゆっくりに冷やしなから行わせるか、そのコントロールはちょうど綱渡りのようなものである。今、太陽エネルギーの利用は核融合ではなく

アモルハスの変化による太陽光発電にシフトしつつあるが、またいつの日かこの核融合を人類の手でコントロールする試みが続けられるであろう。そうした中で人は過ちを犯し反省し、別方向に向かってはまた再度同様な命題に戻ってくる。それほど人類の叡智は非常に短い時間での急激な進歩についていけない状態となっている。であるから、人は必ず過ちを犯すものという前提に立って、過ちを許し次の段階へ進む叡智を蓄えるべきである。

医療における歴史も非常に浅く、まだまだ人類がコントロールできるような状態にはなっていないにも拘らず、人命に拘る過ちを決して許そうとしない人達もいる。その人達はそんなに過ちを犯すことのない人達なのだろうか。私は残念ながら過ちだらけの人間であり、だからこそ人の過ちを非難できる存在ではないことを自覚している。今言われるモンスター家族や、福島原発を過剰に非難する人達がいる。3年前に、この震災が発生する前に彼らも原発によるエネルギーの恩恵を得ていたのではないだろうか。住み慣れた町に戻れない大熊町、浪江町、双葉町の人々には同情するが、かといって皆が過ちを犯していないと胸を張れる人はいないと思う。

東京電力が福島原発にそのエネルギーを求め、関西電力が大飯原発、敦賀原発、美浜原発に頼ってきた構造は、ドイツがフランスの原発から電氣を買っている構造と全く同じである。距離の長短だけのこととて、他人の土地を利用しては全く変わらない。にも拘らずドイツは脱原発をなしえ

た国であるとして立派な行動をとった先進国のごとく言われるが、裏でフランスの危険に満ちた原発から電氣を買っている構造は、全く賞賛できる行動ではない。

人は過ちを犯すものであるから、こうした国内の構造、地球上の仕組みを考えて、謙虚に現在の解決方法に取り組むべきではないだろうか。

私はキリスト教徒ではないが、聖書の一節に民衆が売春婦に石を投げつける場面がある。そのときキリストが民衆に向かって「罪なき者まず石を擲て」と説いたために民衆はその行動を辞めたという。今日の社会、政治を思うとき、こうした態度が完全に欠落しているのではないかと心配する次第であります。

泌尿器科とわたし

泌尿器科 藤井泰普

皆さんは泌尿器科に関してどんなイメージを持っていますか？尿を診る科？膀胱炎・尿路感染・性病を診る科？前立腺を診る科？腎臓を診る科？男性器を診る科？個々人で様々だと思いますが、どれも正解です。今回、機関誌へ掲載という貴重な機会をいただきましたので、泌尿器科とわたしについて書かせていただきます。

まず、私自身の泌尿器科との出会い(うれしいことではないが…)は小学校三年生でした。このときは、血尿が出て原因を調べるために泌尿器科に受診しました。原因ははっきりしませんでした。当時、サッカーに明け暮れていた時期だったので運動のしすぎという結果でした。当然、泌尿器科という言葉もしらず何のイメージもありませんでした。

ついで、中学校・高校時代は幸いお世話になることはありませんでしたが、開業されている医院の泌尿器科・性病科の看板をみて、下(しも)のほうを診る科だという認識でした。大学生となり、授業や実習で泌尿器科の勉強をして、尿路といわれる様々な臓器を診る科だとそのイメージが変わりました。

最後に、臨床研修期間時代(新米医師として働く期間で、この二年間の間に自分が進む診療科を決めます。)ですが、当時、もっぱら内科とくに循環器内科に進もうと考えていましたが、外科研修期間で得られた外科的処置、手術手技にも興味があり、迷っていたところに泌尿器科と再会しました。研修してみると泌尿器科は排尿障害(頻尿・尿漏れなど)や尿路感染症(膀胱炎・腎盂腎炎・性病)はもちろん、尿路結石、癌(腎・腎盂・尿管・膀胱・前立腺・精巣・陰莖)、奇形などの先天性疾患、男性不妊症と幅広く、治療も内服から手術まで老若男女問わず対象にしているではありませんか。このとき、迷わず泌尿器科に進もうと決心しました。しかし、そのことを自分の両親(医療関係者ではありません)に話をしたとき、「エーっ、泌尿器科に行くの？」と驚かれました。私もこの言葉をきいて少しショックを受けたことを覚えています。

自分も私の両親のイメージもそうであったように、皆様の「泌尿器科」のイメージは実際とは少し異なるかもしれません。少しは皆様の泌尿器科に対するイメージがかわれば幸いです。私は泌尿器科医としてまだ6年目ですが、日々勉強し、皆様の病氣と共存するQOL(生活の質)の改善に少しでもお役に立てればと思っています。

第17回 「健康を守る教室」

テ — マ：^{えんげ}「嚥下～ものを食べる・飲み込む」&セラバンドを使用した体操
日 時：平成24年8月25日 土曜日 13:00～14:00(受付12:30～)
場 所：新館1F
講 師：言語聴覚士 山田 理学療法士 磯村
参 加 料：無料
お問い合わせ：受付窓口もしくは医療相談室 Tel 0587-95-0015

^{えんげ}「嚥下障害」という言葉を最近よく耳にするようになりましたが、
そもそも嚥下って何？
「むせる」ってどういうこと？
普段あまり意識されない、食べる・飲み込むということについて
お話しします。
安全に口から食べ続けるための知識を一緒に身につけましょう。



※健康を守る教室の体操コーナーでおなじみのセラバンドを健康教室終了後に下記価格で販売をいたします。
ご希望の方はお申し出下さい。 黄色(弱)400円 緑色(中)460円 青色(強)520円

自己紹介

人事課 鈴木恵子

4月よりさくら総合病院 人事課に入職させていただきました鈴木恵子と申します。

前職では20年余り人事、総務の仕事に携わっておりました。病院での勤務は初めてですので、皆様にご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、前職の経験を活かしまして日々精進して参ります。

さくら総合病院では、日本とフィリピン及びインドネシアとの間で締結された経済連携協定(EPA)に基づくフィリピン人、インドネシア人の看護師候補生の受入れを積極的に行っております。現在フィリピン人候補生6名、インドネシア人候補生5名の計11名が日本の看護師資格取得に向けて勉強しております。候補生は母国ではみな看護師として働いていた人たちですので専門的な知識はあります。が、国家試験は日本人と同じ条件で受験しなければなりませんので、候補生にとって日本語を理解することが一番難しい壁となっております。そのため病院では星城大学の先生にご協力をいただきまして、週2回日本語の授業をしていただいております。そのうち1回は看護学を専門に教えていただいております。それ以外にも毎日1時間の自習の時間をいただき、日本語の勉強をしています。

人事課として私は在留期間更新申請の手続きや役所の手続き、日々の生活で困っていることの相談に乗ったりと彼女たちの身の回りのお世話をさせていただきます。

去る7月7日に有料老人ホーム「太郎と花子」で開催しました“来て見ん祭”では候補生全員で、事前に盆踊りの練習から参加してとても心待ちにしておりましたところ、病院から全員に浴衣のサプライズプレゼントを頂き、みんな大喜びでお祭りに参加しました。初めて着る浴衣姿にとっても感激し、みんなきれいにお化粧をして盆踊りを踊ったり、写真を撮ったり、模擬店で買い物をしたりと、日本の文化に触れることができ本当に良い思い出になったと思います。

これからも彼女たちの良い相談役であり、また人事課の職員として皆様のお役に立てるよう努力して参りますのでよろしくお願いいたします。

さくら荘利用者の日常生活動作を向上させるために…

さくら総合福祉センター さくら荘 作業療法士 開 啓史

私がさくら荘に配属されてから今年で一年が経ちました。このさくら荘は怪我や病気などを患った後、医療機関での治療を終え、状態が安定した方が利用または入所されることが多く、そのような方々に対してリハビリテーションを提供しています。そこで、少しでも日常生活動作を向上させることで自立への支援もしくはご家族など介護者の負担を減らせるよう、普段行っている日常生活動作を確認した上で目標を設定し、アプローチしています。内容としては日常生活動作を行うために必要な筋力や体力、関節の動きを維持、向上させることが中心であり、個々に合わせた運動を選択し提供しています。また、自宅を訪問し、介助方法を確認の上、さらに良い方法を提案させて頂くこともあります。ここ一年、設備の面でも大変充実し、足首の動きを改善させる器具や移乗動作の練習用手すりなどが導入されたことにより、さらにより効果的なリハビリテーションを提供できるようになりました。

今後も一人の職員として自分が関わる方々に対し何が出来るのか、どうしたら日常生活動作を少しでも向上させることが出来るのかを考え、精進していきたいと思っております。

診療科表

平成24年8月1日現在

No.244 (6)

human

	午前 9:00~12:00										午後 5:00~7:30													
	消化器病 外傷 センター		1-1センター 循環器 呼吸器 総合内科 センター		運動器 形成 センター		脳卒中 脊椎 骨髄 センター		神経 糖尿病 感染症 センター		スナンス 外来		子ども女性疾患 センター		ペイン クリニック センター		皮膚疾患 センター		耳・鼻・ 喉疾患 センター		腎・尿路 疾患 センター		眼の 疾患 センター	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
火	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
木	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
土	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

- ※1 休診日あり ※2 祝日診療あり(9:00~11:00)
- 診療時間は、診療科目により異なります
- ご不明な点がある場合は、職員にご確認ください
- 診療日が変わる場合があります。ご了承ください

機関紙 発行 医療法人 医仁会 電話 0587(95)6711(代)

human ヒューマン 発行年月日 2012年8月1日

No.244 発行部数 350部

丹羽郡大田町新宮1-129